

## 蹴鞠装束に関する研究 (第2報)

○ 弓削 公子

(大阪女子短期大学)

目的	前回発表の蹴鞠の装束の歴史を、大化の改新で工を遷した。藤原鎌足が着る蹴鞠の装束の歴史を、大化の改新で工を遷した。
方法	京都市立博物館、京都市立資料館、蹴鞠保存会、天理大学に於いて現存の資料について調査をほめた。
結果	現存する最古の蹴鞠装束は、18世紀初期文化七年と十年の資料の中、水干工点について、各々の地質、形、色目、髹漆を受けた時代、縫製等の点、共通点、相違点や当時の流行などが判明した。